

三菱電子署名モジュール
MistyGuard®<SignedPDF®>シリーズ
電子署名付与済み PDF 文書
Adobe Acrobat Reader DC
署名検証 設定手順書

Ver1.0.0

三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

改 定 履 歴

版数	日付	内容
1.0.0	2015/06/01	初版

目 次

1	はじめに	4
2	Adobe Acrobat Reader DC で署名検証を行うための設定手順.....	4
2.1	設定手順の流れ.....	4
2.2	信頼済み証明書のダウンロード	5
2.3	信頼済み証明書の登録.....	6
2.4	署名検証の設定.....	12
3	Adobe Acrobat Reader DC での署名検証の方法	14
4	注意事項	17
4.1	失効確認を行わない場合の設定	17
4.2	署名検証に使用する時刻の変更	19

1 はじめに

本書は、弊社が販売している電子署名モジュール MistyGuard<SignedPDF>シリーズで、電子署名やタイムスタンプ付与、または長期署名を行った PDF 文書に対し、Adobe Acrobat Reader DC を使用して署名検証を行う方法について示すものです。

【！注意！】

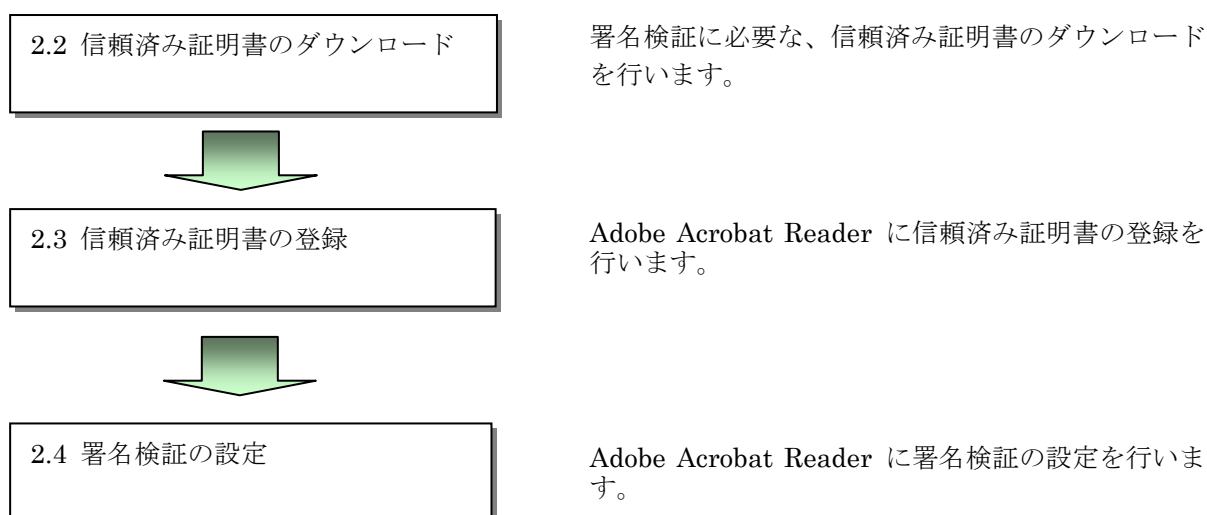
- ①Adobe Reader XI をご利用の方は、本書ではなく「Adobe Reader XI 署名検証設定手順書」をご参照ください。
- ②Adobe Reader X をご利用の方は、本書ではなく「Adobe Reader X 署名検証設定手順書」をご参照ください。

2 Adobe Acrobat Reader DC で署名検証を行うための設定手順

Adobe Acrobat Reader DC で署名検証を行うための設定手順を説明します。

2.1 設定手順の流れ

設定作業の流れを以下に示します。



2.2 信頼済み証明書のダウンロード

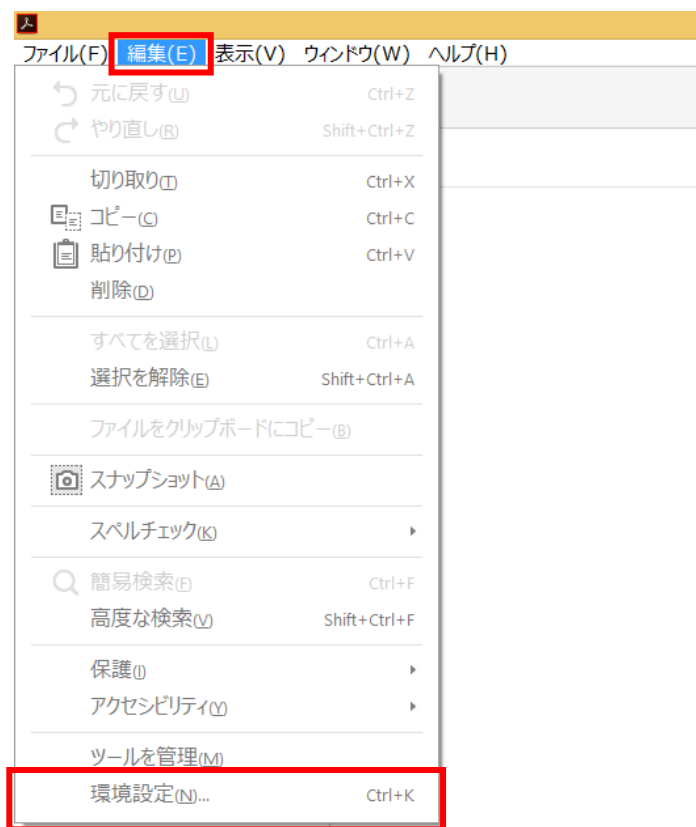
電子署名付与に使用している署名者証明書、およびタイムスタンプ付与、長期署名に使用している TSA 証明書の上位証明書である信頼済み証明書（証明書のトラストアンカー証明書、および中間証明書）を、署名検証を行う端末上の任意のフォルダにダウンロードし、ファイル保管を行ってください。

電子署名付与のみ行われている PDF 文書の署名検証を行うためには、電子署名付与に使用している署名者証明書の上位証明書である信頼済み証明書のダウンロードと、信頼済み証明書の登録が必要です。

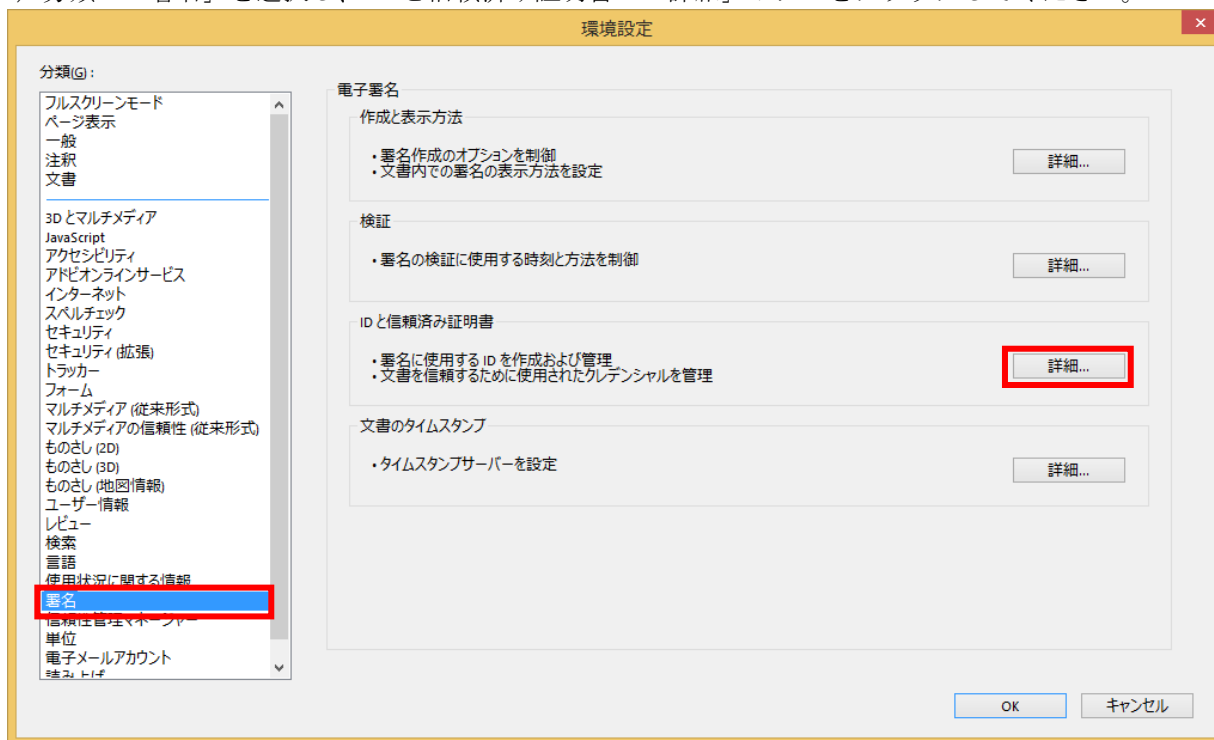
タイムスタンプ付与、長期署名が行われている PDF 文書の署名検証を行うためには、電子署名付与に使用している署名者証明書の信頼済み証明書、タイムスタンプ付与に使用している TSA 証明書の信頼済み証明書のダウンロードと、この2つの信頼済み証明書の登録が必要です。

2.3 信頼済み証明書の登録

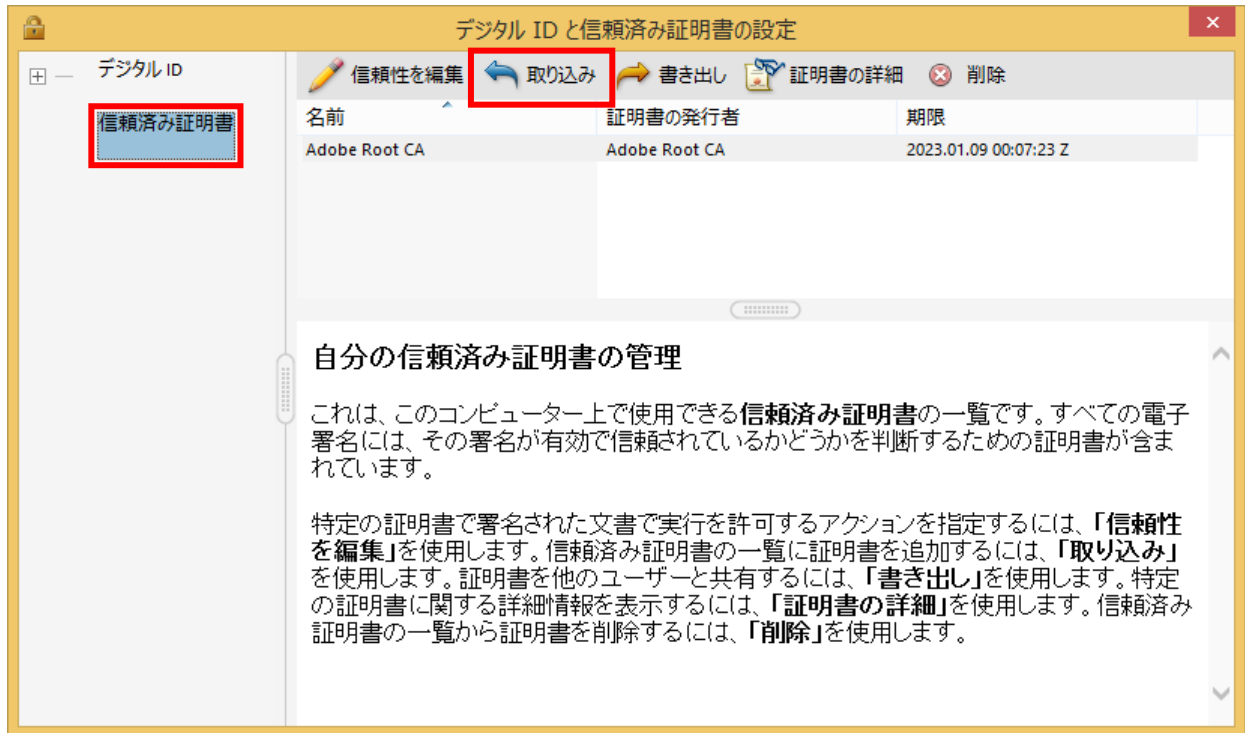
(1) Adobe Acrobat Reader DC を起動し、メニューの「編集」 — 「環境設定」を選択してください。



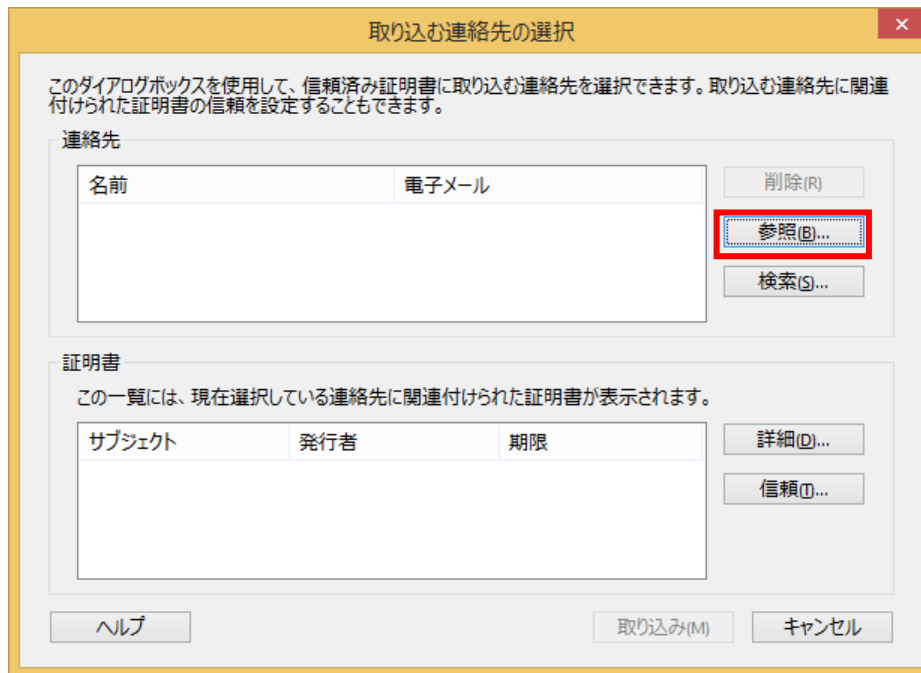
(2) 分類の「署名」を選択し、ID と信頼済み証明書の「詳細」 ボタンをクリックしてください。



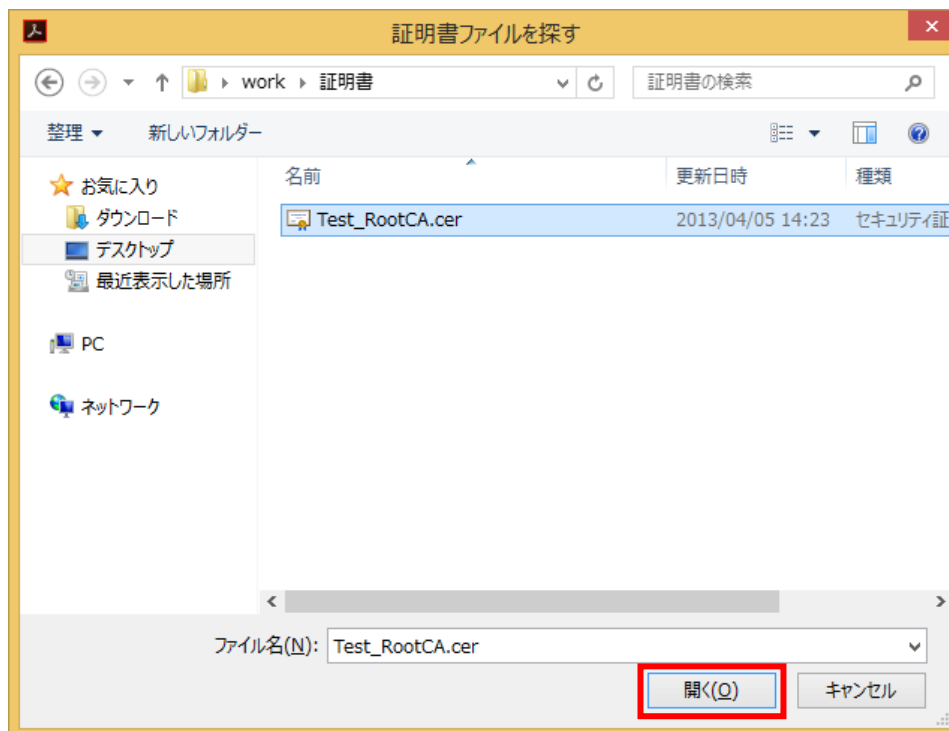
(3) 「信頼済み証明書」を選択し、「取り込み」ボタンをクリックしてください。



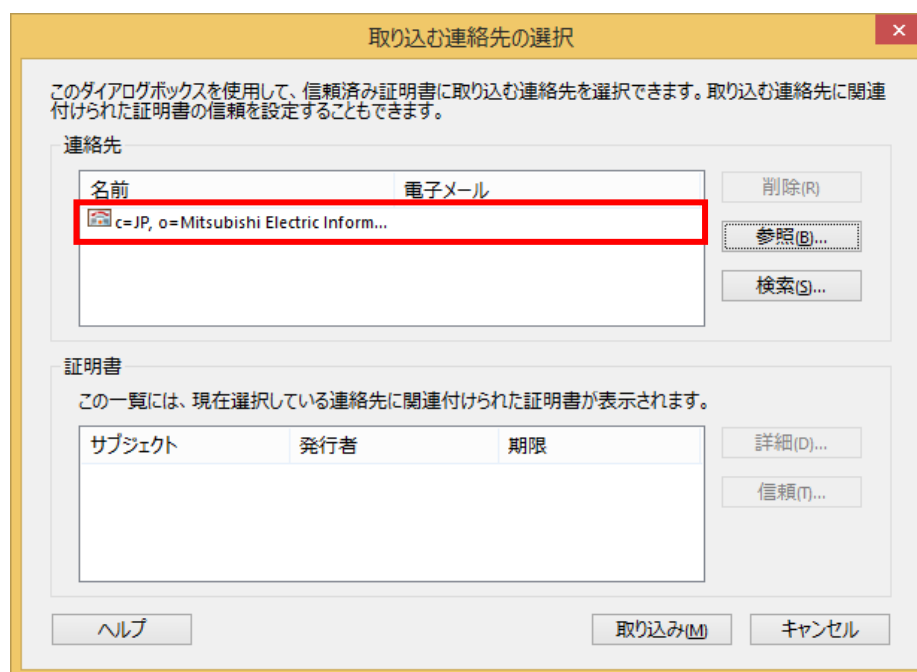
(4) 取り込む連絡先の選択画面が表示されたら、「参照」ボタンをクリックしてください。



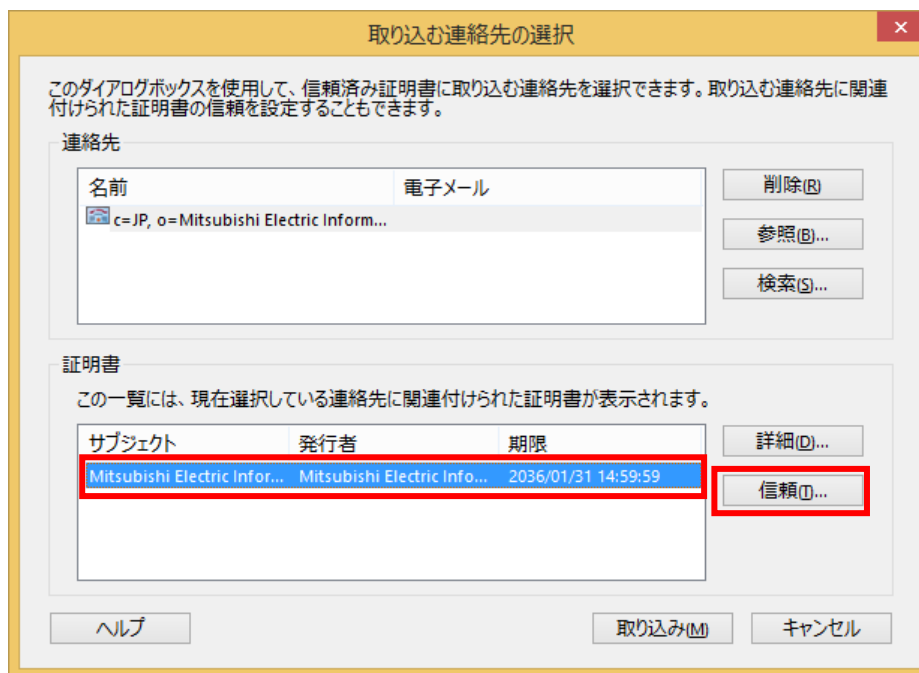
- (5) 証明書ファイルを探す画面が表示されたら、2.2にて保管を行った信頼済み証明書ファイルを選択して、「開く」ボタンをクリックしてください。



- (6) 取り込む連絡先の選択画面の連絡先内に、選択を行った信頼済み証明書が表示されるので、その証明書を選択してください。



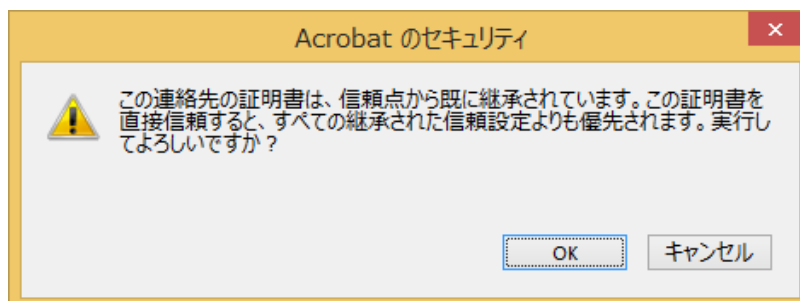
(7) 取り込む連絡先の選択画面の証明書内に、選択を行った信頼済み証明書が表示されるので、その証明書を
選択して「信頼」ボタンをクリックしてください。



信頼済み証明書が中間証明書である場合、「信頼」ボタンをクリックすると以下の警告ダイアログが表示されることがあります。

その場合は、警告ダイアログの「OK」ボタンをクリックして警告ダイアログを閉じた後に

(9) 以降の手順にしたがって作業を行ってください。



- (8) 連絡先設定を取り込み画面が表示されたら、「信頼」内の「この証明書を信頼済みのルートとして使用

連絡先設定を取り込み

証明書の詳細

サブジェクト: Mitsubishi Electric Information Systems Corporation
発行者: Mitsubishi Electric Information Systems Corporation
使用方法: 証明書に署名 (CA)、CRLに署名

有効期限: 2036/01/31 14:59:59

信頼

署名の検証が成功するには、文書の署名に使用される証明書が信頼点として指定されているか、信頼点までのチェーンである必要があります。信頼点およびそれよりも上の階層については失効確認は実行されません。

この証明書を信頼済みのルートとして使用(R)

署名の検証に成功した場合、次の対象についてこの証明書を信頼します:

- 署名された文書またはデータ
- 証明済み文書(D)
 - ダイナミックコンテンツ(D)
 - 埋め込まれている特権の高い JavaScript(J)
 - 特権が必要なシステム操作 (ネットワーク、印刷、ファイルアクセスなど)(P)

証明書の詳細(D)...

ヘルプ OK キャンセル

- (9) 取り込む連絡先の選択画面に戻るので、「取り込み」ボタンをクリックしてください。

取り込む連絡先の選択

このダイアログボックスを使用して、信頼済み証明書に取り込む連絡先を選択できます。取り込む連絡先に関連付けられた証明書の信頼を設定することもできます。

連絡先

名前	電子メール	削除(D)
c=JP, o=Mitsubishi Electric Inform...		参照(D)...
		検索(S)...

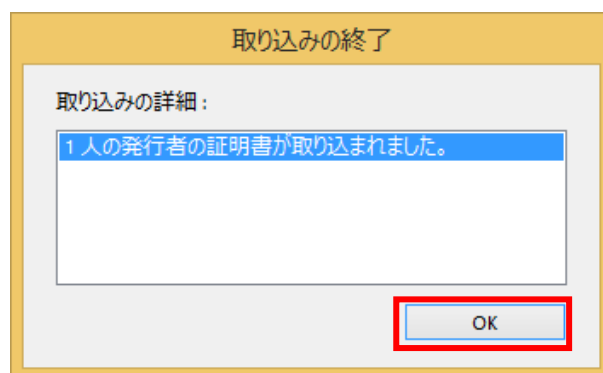
証明書

この一覧には、現在選択している連絡先に関連付けられた証明書が表示されます。

サブジェクト	発行者	期限	詳細(D)...
Mitsubishi Electric Infor...	Mitsubishi Electric Info...	2036/01/31 14:59:59	信頼(D)...

ヘルプ 取り込み(M) キャンセル

(10) 取り込みの終了画面が表示されるので、「OK」ボタンをクリックしてください。

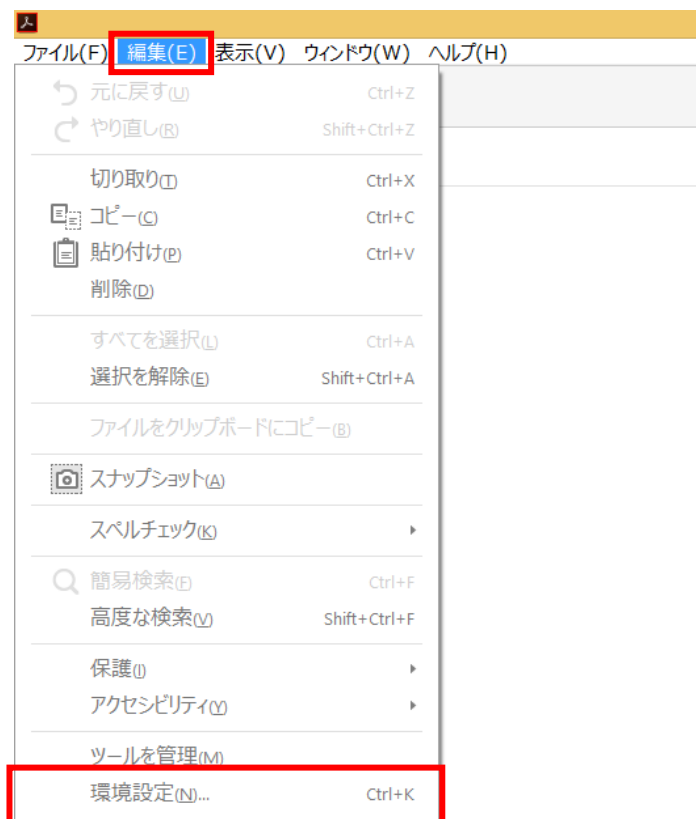


(11) 複数の信頼済み証明書の登録を行う場合は、(3) から (10) の手順を参照して、署名検証に必要な信頼済み証明書の登録を行ってください。

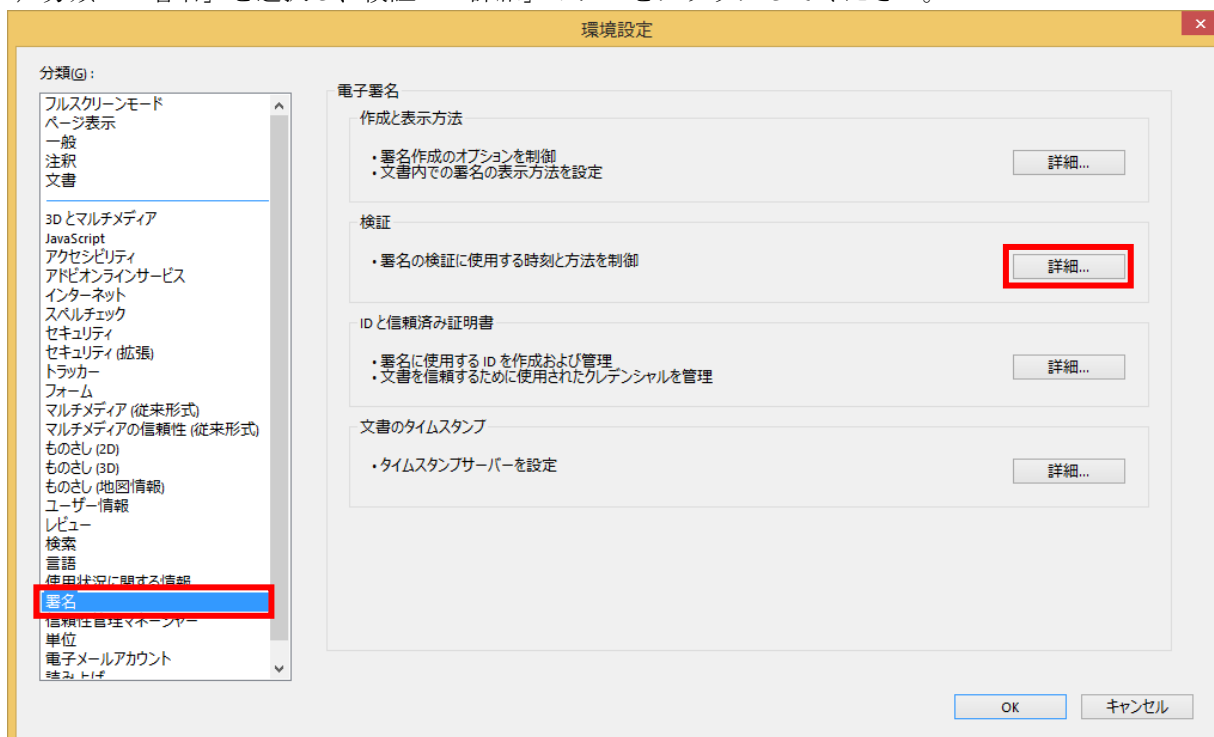
(12) 署名検証に必要な信頼済み証明書の登録が全て完了したら、すべての画面を順に閉じて、Adobe Acrobat Reader DC を再起動してください。

2.4 署名検証の設定

(1) Adobe Acrobat Reader DC を起動し、メニューの「編集」 — 「環境設定」を選択してください。



(2) 分類の「署名」を選択し、検証の「詳細」ボタンをクリックしてください。



- (3) 署名検証の環境設定画面が表示されるので、検証動作の検証方法で「常にデフォルトの方法を使用」を選択し、「Adobe デフォルトセキュリティ」となっていることを確認して「OK」ボタンをクリックしてください。

署名検証の環境設定

文書を開くときに署名を検証

有効であるが信頼していない署名が文書にある場合、署名者を確認して信頼性を設定

検証動作

検証方法:

文書で指定された方法を使用。使用できない場合は確認メッセージを表示

文書で指定された方法を使用。使用できない場合はデフォルトの方法を使用

常にデフォルトの方法を使用 (M) Adobe デフォルトセキュリティ

署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求 (R)

期限切れのタイムスタンプを使用 (E)

文書の検証情報を無視 (J)

検証時刻

署名の検証に使用する時刻:

署名が作成された時刻 (I)

署名に埋め込まれている保証された時刻 (タイムスタンプ) (S)

現在の時刻 (G)

検証情報

署名済み PDF を保存時に自動的に検証情報を追加:

検証情報が大きすぎる場合に確認

常に

行わない

Windows 統合

以下の操作について、Windows 証明書ストアのすべてのルート証明書を信頼:

署名を検証 (S)

証明済み文書を検証 (D)

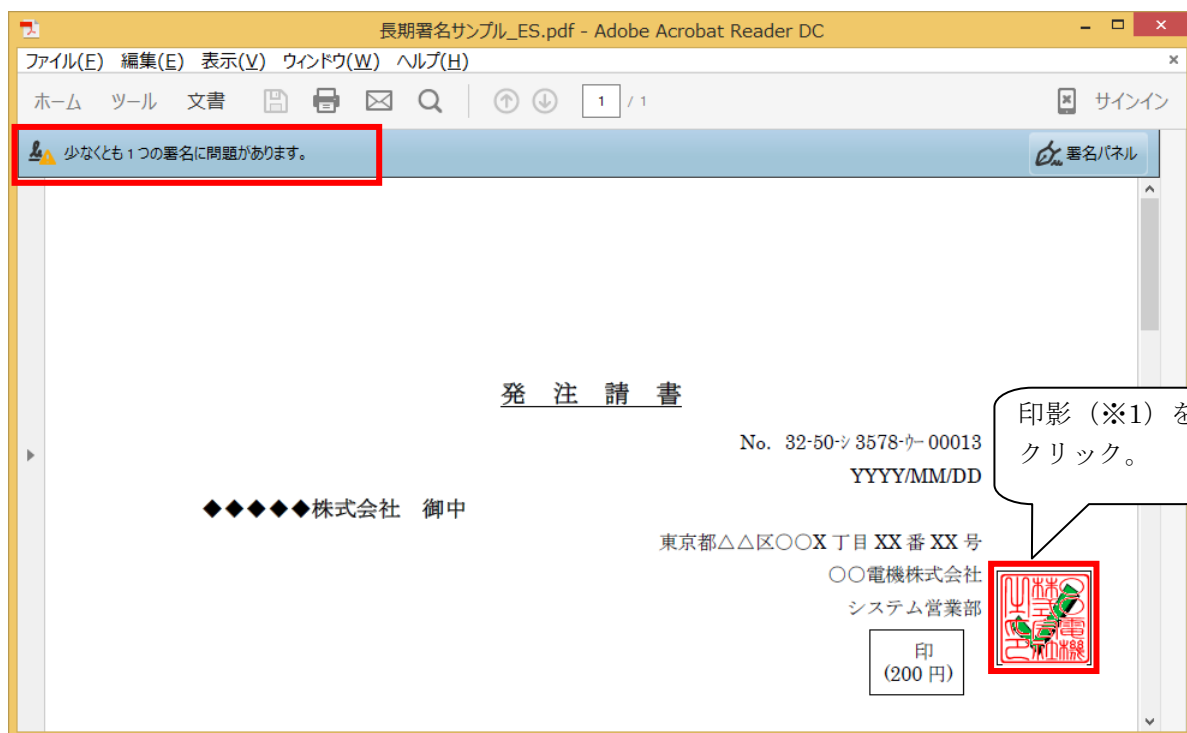
これらのオプションのいずれかを選択すると、任意のマテリアルが信頼済みのコンテンツとみなされます。これらの機能を有効にする場合は、十分な注意が必要です。

ヘルプ OK キャンセル

- (4) すべての画面を順に閉じて、Adobe Acrobat Reader DC を再起動してください。

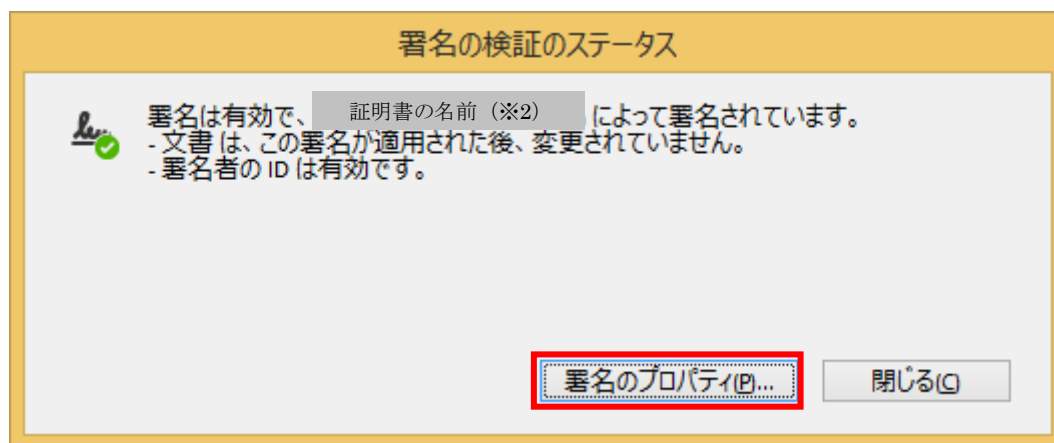
3 Adobe Acrobat Reader DC での署名検証の方法

- (1) 署名検証を行う電子署名やタイムスタンプ付与、または長期署名を行った PDF 文書を、Adobe Acrobat Reader DC で開いてください。PDF 文書を開くと自動的に署名検証が行われます。PDF 文書上段のメッセージバーに電子署名状態アイコンの表示が行われます。署名検証のステータス確認を行う場合は、印影をクリックしてください。



※1: 印影や印影の箇所は、あくまで本書での例であり、実際は PDF 文書により異なります。

- (2) 署名の検証のステータス画面の表示が行われ、署名検証のステータス、メッセージの確認が行えます。
「署名のプロパティ」ボタンをクリックしてください。



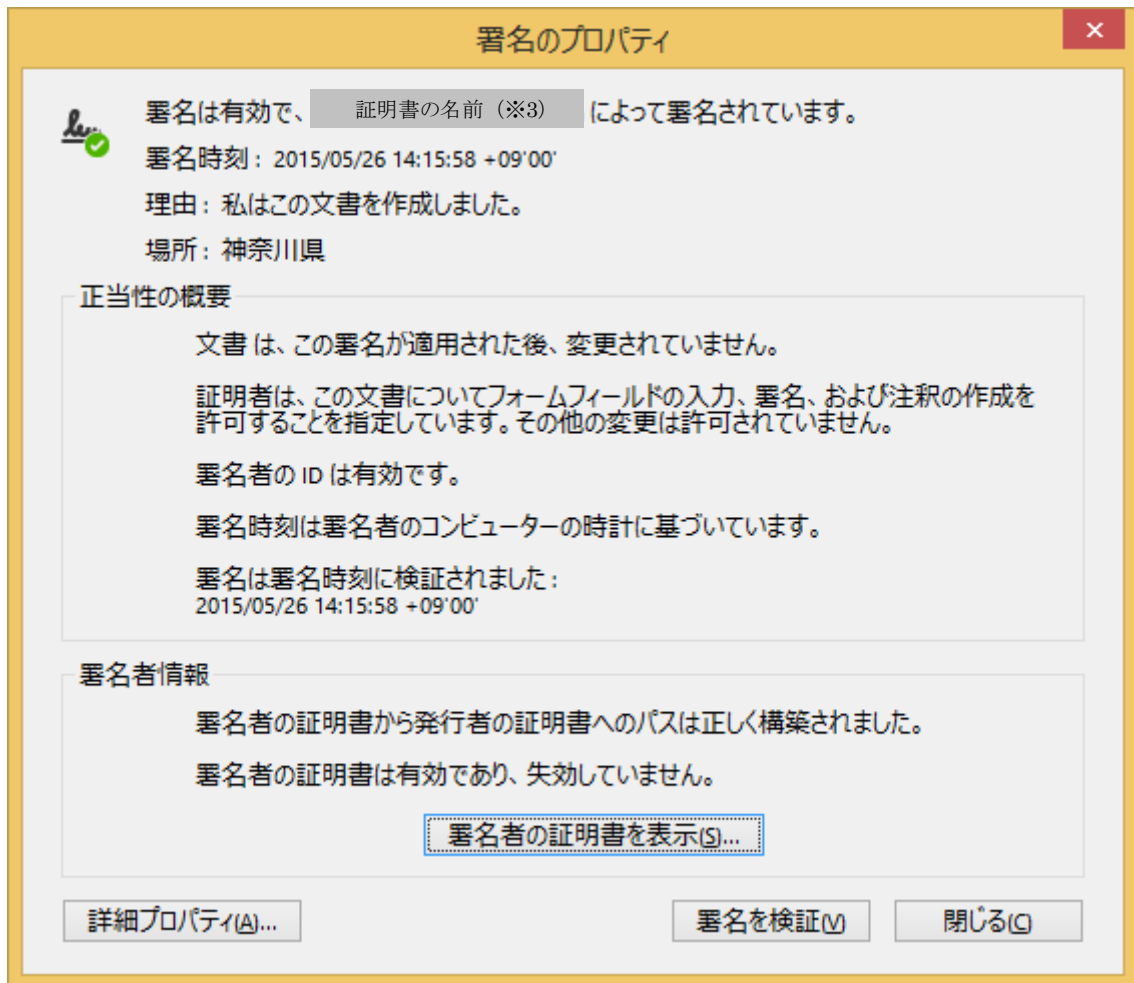
※2: 表示される証明書の名前は、電子署名付与に使用した署名者証明書のサブジェクト CN の設定値となります。

メッセージの表示内容は文書の信頼性、設定状況などによって違ってきます。
 主な表示内容について以下に示します。

表 1 Adobe Acrobat Reader 署名検証ステータス 一覧

No	アイコン	ステータス	メッセージ	原因
1		電子署名が正常な場合	署名は有効で、<証明書の名前>によって署名されています。 ー 文書は、この署名が適用された後、変更されていません。 ー 署名者の ID は有効です。	
2		失効情報が確認できない電子署名の場合	署名の完全性は不明です。 ー 文書は、この署名が適用された後、変更されていません。 ー 署名者の ID は発行時は有効でしたが、現時点で失効確認ができませんでした。	<ul style="list-style-type: none"> ・実行端末からインターネット接続できない。 ・実行端末の時刻が合っていない。 ・認証局が障害停止している。(CRL 未公開)。
3		信頼する認証局ではない電子署名の場合	署名の完全性は不明です。 ー 文書は、この署名が適用された後、変更されていません。 ー 署名者の ID は信頼済み証明書の一覧に見つからず、親証明書も信頼済み証明書ではないので、この ID は不明です。	<ul style="list-style-type: none"> ・Adobe Acrobat Reader に信頼済み証明書の登録を行っていない。 ・Adobe Acrobat Reader の署名検証の設定を行っていない。
4		署名の有効期限が切れている場合	署名の完全性は不明です。 ー 文書は、この署名が適用された後、変更されていません。 ー 署名者の ID は、有効期限が切れているか、まだ有効になっていないため、不明です。	<ul style="list-style-type: none"> ・古い署名済み PDF 文書を参照したため、署名に使用した電子証明書の参照時点で有効期限切れになっている。
5		失効された電子署名の場合	署名は無効です。 ー 文書は、この署名が適用された後、変更されていません。 ー 署名者の ID は失効しているため無効です。	<ul style="list-style-type: none"> ・署名に使用した電子証明書が何からの事情により、やむなく失効されている。
6		改ざんされた電子署名の場合	署名は無効です。 ー 文書は、署名が適用された後、変更されたかまたは破損しました。 ー この文書は現在のユーザによって署名されています。	<ul style="list-style-type: none"> ・署名された PDF 文書の内容が変更 (改ざん) されている。 (この PDF 文書の内容が、信頼できないものとなっている)。

- (3) 署名のプロパティ画面が表示され、署名検証結果の詳細について確認が行えます。
「署名者の証明書を表示」ボタンをクリックすると、証明書ビューアが表示され証明書の詳細情報の確認が行えます。



※3：表示される証明書の名前は、電子署名付与に使用した署名者証明書のサブジェクト CN の設定値となります。

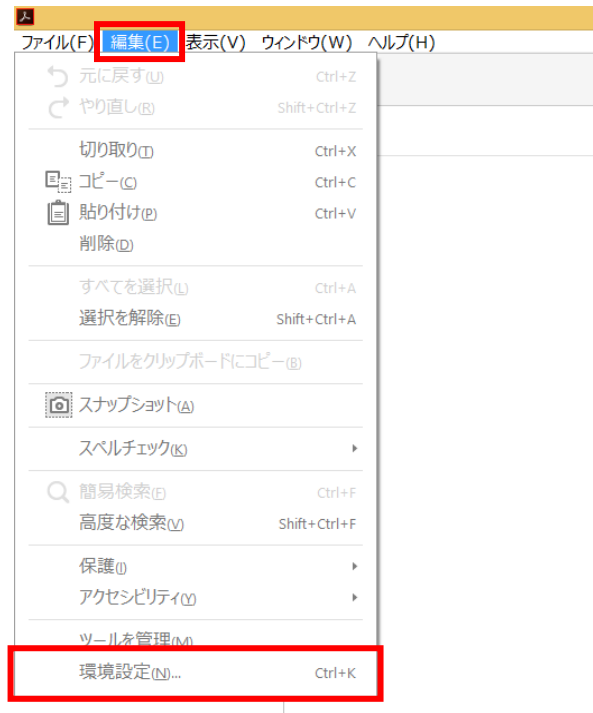
4 注意事項

4.1 失効確認を行わない場合の設定

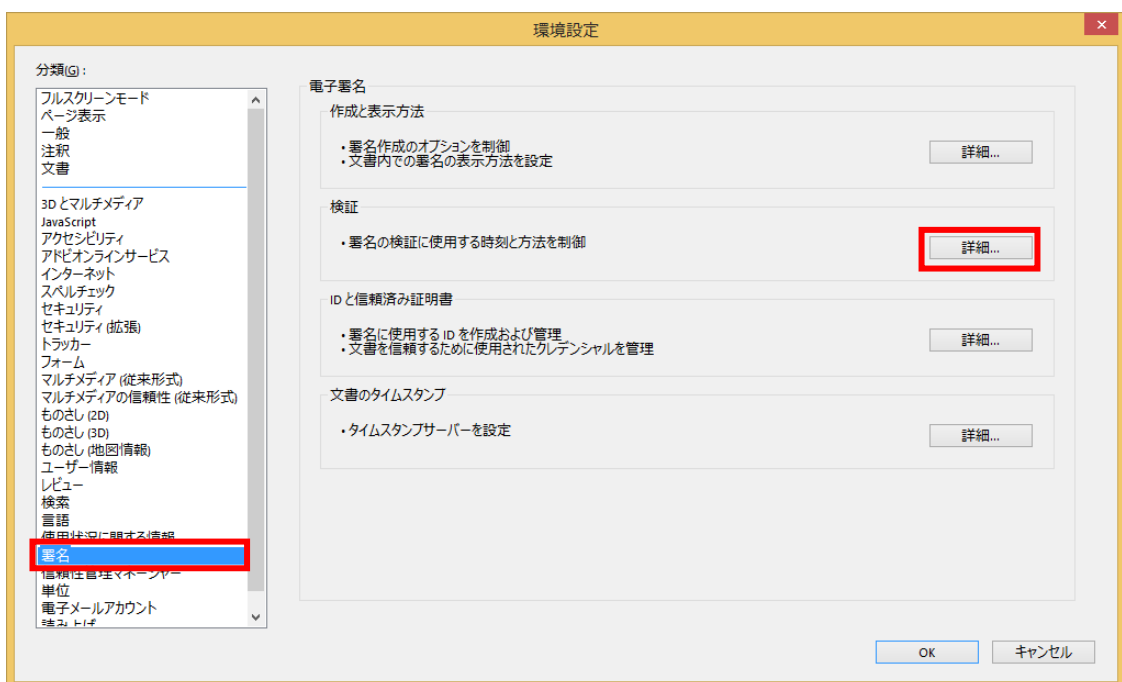
署名検証を行う際、証明書の失効確認を行うため Adobe Acrobat Reader はインターネットに自動接続します。

利用端末がインターネットに接続できない環境等である場合、本章に示す Adobe Acrobat Reader DC の設定変更を行うことによって失効確認を行わないようにすることが可能です。

- (1) Adobe Acrobat Reader DC を起動し、メニューの「編集」―「環境設定」を選択してください。



- (2) 分類の「署名」を選択し、検証の「詳細」ボタンをクリックしてください。



- (3) 署名検証の環境設定画面が表示されるので、検証動作の「署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求」のチェックを外し、「OK」ボタンをクリックしてください。

署名検証の環境設定

文書を開くときに署名を検証

有効であるが信頼していない署名が文書にある場合、署名者を確認して信頼性を設定

検証動作

検証方法:

文書で指定された方法を使用。使用できない場合は確認メッセージを表示

文書で指定された方法を使用。使用できない場合はデフォルトの方法を使用

常にデフォルトの方法を使用: Adobe デフォルトセキュリティ

署名検証の際に証明書の失効確認が成功することを要求

期限切れのタイムスタンプを使用

文書の検証情報を無視

検証時刻

署名の検証に使用する時刻:

署名が作成された時刻

署名に埋め込まれている保証された時刻 (タイムスタンプ)

現在の時刻

検証情報

署名済み PDF を保存時に自動的に検証情報を追加:

検証情報が大きすぎる場合に確認

常に

行わない

Windows 統合

以下の操作について、Windows 証明書ストアのすべてのルート証明書を信頼:

署名を検証

証明済み文書を検証

これらのオプションのいずれかを選択すると、任意のマテリアルが信頼済みのコンテンツとみなされます。これらの機能を有効にする場合は、十分な注意が必要です。

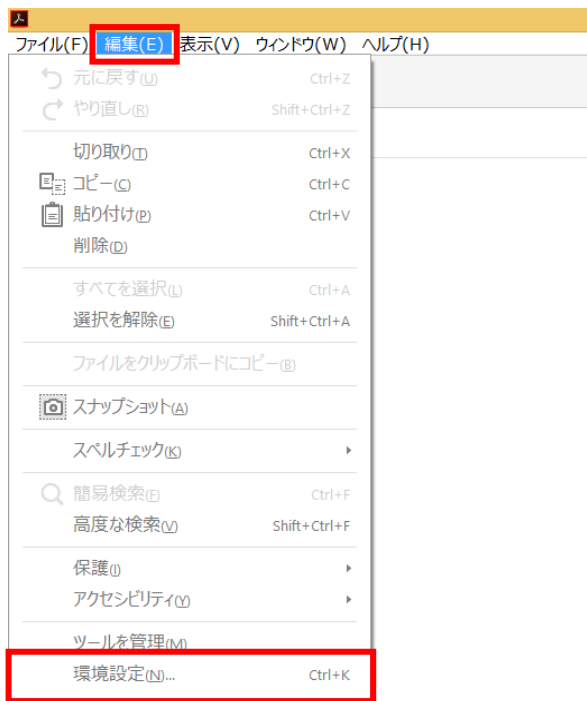
ヘルプ OK キャンセル

- (4) すべての画面を順に閉じて、Adobe Acrobat Reader DC を再起動してください。

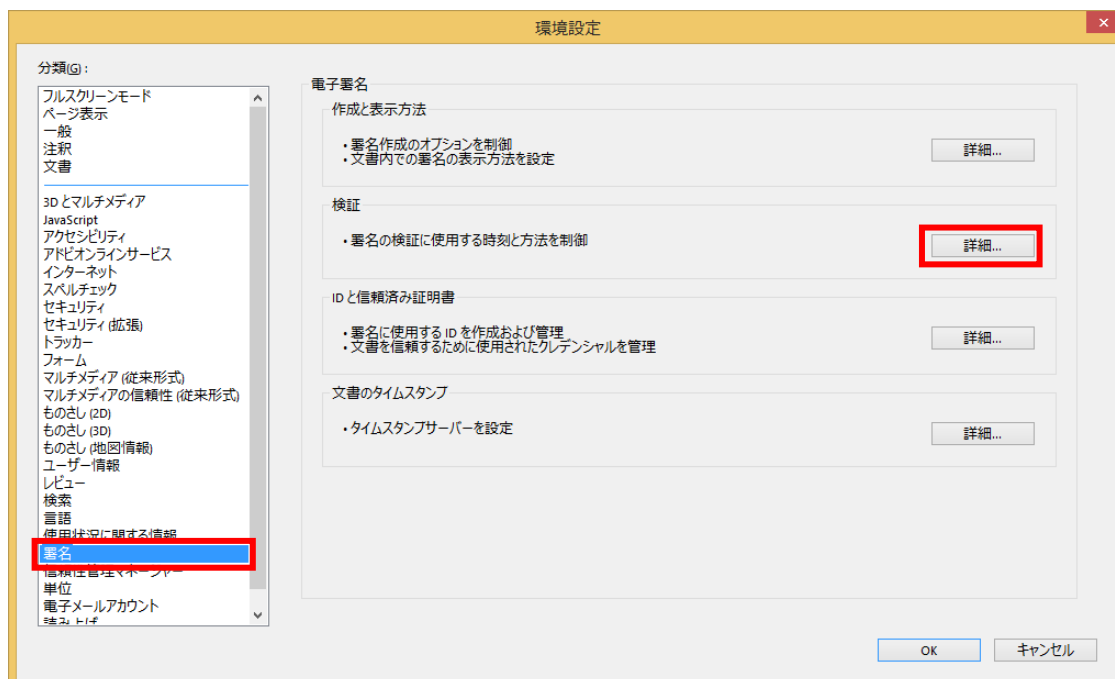
4.2 署名検証に使用する時刻の変更

Adobe Acrobat Reader DC の初期設定では、「署名が作成された時刻」を使用した署名検証を行う設定となっております。本章に示す Adobe Acrobat Reader の設定変更を行うことによって署名検証に使用する時刻を変更することが可能です。

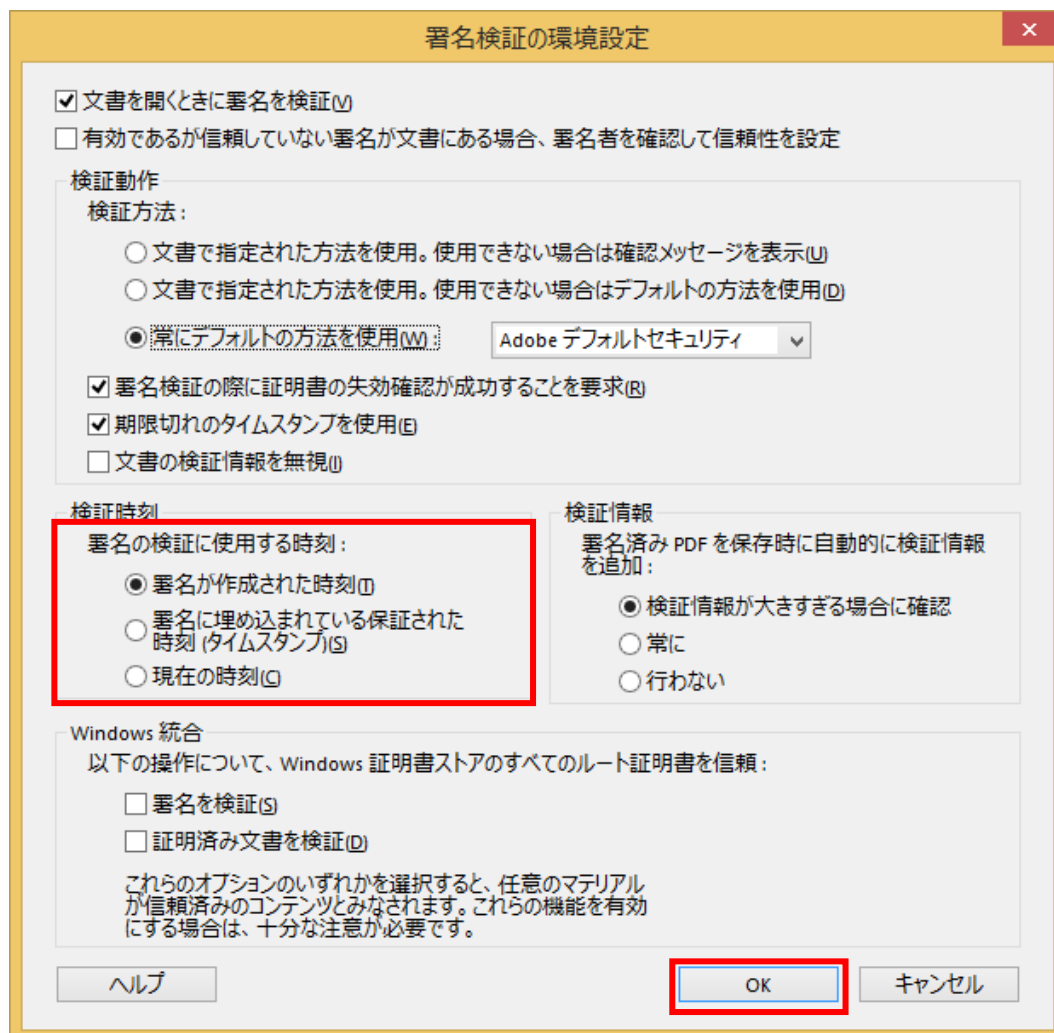
- (1) Adobe Acrobat Reader DC を起動し、メニューの「編集」―「環境設定」を選択してください。



- (2) 分類の「署名」を選択し、検証の「詳細」ボタンをクリックしてください。



- (3) 署名検証の環境設定画面が表示されます。「署名の検証に使用する時刻」を変更してください。「署名の検証に使用する時刻」の詳細について以下に示します。
- 署名が作成された時刻：電子署名付与が行われた時刻を使用して署名検証を行います。
→ Adobe Acrobat Reader DC の初期設定値となります。
 - 署名に埋め込まれた保証された時刻（タイムスタンプ）：タイムスタンプ付与が行われた時刻を使用して署名検証を行います。
 - 現在の時刻：署名検証を行う端末のシステム時刻を使用して署名検証を行います。



- (4) すべての画面を順に閉じて、Adobe Acrobat Reader DC を再起動してください。

以上